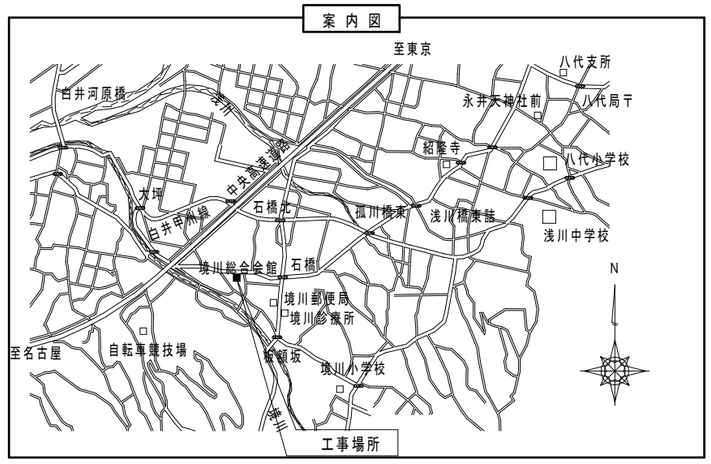
境川総合会館

受変電設備等更新工事

統番	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	E - 00	表紙、案内図	No Scale
2	E - 01	特記仕様書	No Scale
3	E - 02	幹線設備配置図	No Scale
4	E - 03	参考図	1:20

笛吹市

案内図



工事名　境川総合会館受変電設備等更新工事

電気設備仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事場所　山梨県 笛吹市境川町三椚３

２．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	建築基準法別表第一	備考
境川総合会館	ＲＣ造	ー	ー			

（注記：延べ面積は建築基準法による表記）

３．工　事　種　目（○印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別	工事種別			
工　事　種　目	境川総合会館			備　考
構内線路設備				
○ 受変電設備	新設一式			既存撤去他、処分共
○ 発電設備	新設一式			既存撤去他、処分共
○ 幹線設備	改修一式			受変電室
○ 動力設備	改修一式			受変電室
電灯設備				
構内情報通信網設備				
テレビ共同受信設備				
拡声設備				
時刻表示設備				
呼出設備				
監視カメラ設備				
防犯設備				
誘導支援設備				
インターホン設備				
火災報知設備				
雷保護設備				
外構（渡り廊下）電気設備				

Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、全て下記による。

１）国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編・最新版）」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編・最新版）」
「公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編・最新版）」
及び「電気設備工事監理指針　（最新版）」

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
尚、機械設備工事の工事仕様書及び建築工事の工事仕様書は、各々電気設備工事に準ずる。

２．工事範囲

設計図書、現場説明及び工事契約書による。

３．提出書類

現場説明書、工事契約書及び監督員の指示するもの。（○印の付いたものを適用する）

○工程表　○施工計画書　○設備機材等選定表　○機器類製作図　○施工図面
○工程写真　○完成写真　○試験成績書　○機器類完成図　○完成図面
○保証書類　○取扱説明書　○届出書類の控え　○機器材納品書　○工事日報

４．特記仕様

（１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項において選択する内容の事項は、○印・※印の付いたものを適用する。
（３）その他細部については、監督員の指示による。

項目	特記事項
① グリーン購入法	グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準よる仕様を満足すること。
② 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するものも含め、全て監督員の承諾を受ける。 化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆表示 建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則としてＦ☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、Ｆ☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。

項目	特記事項
③ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
④ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。
⑤ 発生材の処理	１）引渡しを要するもの　⊙無し ※有（変圧器：1φTr100kVA、3φTr50kVA　高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ：20kVar） ２）引渡しを要するもの以外 構外搬出とし、搬出及びその処理は　・別途工事とする。⊙本工事とする。 ３）特別管理産業廃棄物　⊙無し ⊙有（ＰＣＢ使用機器：変圧器類の調査を行うこと） ＰＣＢ使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。 ４）再利用又は再資源化を図るもの　・無し ・有（現場監督職員の指示による　　） ⊙現場説明書による。
６ 残土処理	・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・現場説明書による。　⊙場外搬出処分とする。
７ 電線本数管路など	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管経等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上　ＰＦ管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。
⑧ 使用電線管	特記なき電線管は、合成樹脂可とう電線管（ＰＦ－重管）とし、ボックス及び附属品等も樹脂製とする。露出配管はネジナシ電線管（ＥＰ）とする。 ただし屋外露出部分は、厚鋼電線管（溶融亜鉛メッキ塗装）を使用すること。
９ 予備配管	埋込形の盤類には、予備配管を設ける。［予備回路、×３までは（２２）相当を１本、×４以上は（２２）相当を２本とし、予備スペース１に対して（２８）相当を各１本天井内まで立ち上げる］
⑩ 導入線	予備（空）配管には、太さ１．２mm以上の被覆鉄線を挿入する。
11 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。（プライマー処理後、ＳＯＰ２回塗り指定色仕上） ・屋外（　　）・屋内（　　）
⑫ 産廃物の適正処理	施工に際して発生する建設副産物は、関係法令に従って適切に処理すること。
⑬ 寸法・形状	本設計図のうち、機器姿図等に記入の寸法・形状は参考とする。
⑭ 盤類の鍵	盤類の鍵は、基本的に２００番とし、使い分けが必要な場合は５５０番と併用する。
15 電磁開閉器	遠方操作用押ボタンは、運用形とする。
16 スイッチ	・タンブラＪＩＳ連用大角形　・ネーム付（印刷文字）　・ワイド形
17 コンセント	図面に特記なき場合は、コンセント　２Ｐ１５Ａ（接地極付）は、プラグ不要とする。
18 フロアコンセント	・プラグ収納形　・アップ形　・上下動形
⑲ プレートの材質	フラッシプレート　⊙金属製　・樹脂製　使い分けは現場指示による。
20 ローテンションアウトレット	フロアプレート　・砲金製　・アルミ合金製 ・ＯＡ対応形（大口）・片口形　・両口形
21 保安器用接地	・本工事　・別途
㉒ 接地極埋設標	屋外灯を除く接地極埋設個所には接地極埋設標（金属製・国土交通省形）を取付けること。
㉓ 地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ⊙鉄製（　箇所）　⊙コンクリート製（　箇所）
㉔ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㉕ 環境対策型製品（線ケーブル類）	電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」（ＥＭ）製品を推奨する。 但し、既製品のない種類の物は監督職員の承諾を得ること。 ＥＭ電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕様
EM−UTP	ＪＩＳ　Ｘ　５１５０（ＵＴＰ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−CEES	ＪＩＳ　Ｘ　４２５８　Ｄ（制御用ケーブル（遮へい付））に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−MEES	ＪＣＳ　２７１（ＭＶＶＳ）に準じ、シースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

26 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高さ［mm］
ブラケット（一般）	床上～中心	２，１００
〃　（踊場）	〃	２，５００
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	１５０
避難口誘導灯	床上～下端	１，５００ 以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	１，０００ 以下
スイッチ　（一般）	床上～中心	１，１００
〃　（身体障害者用）	〃	１，１００
コンセント、電話アウトレット、直列ユニット	〃	３００
〃　（和室）	〃	１５０
コンセント（車庫）	〃	８００
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×０．９
アッテネータ	〃	１，１００
出退表示盤（表示灯）	〃	（天井高）×０．８
発信器　（出退表示用）	〃	１，１００
インターホン	〃	１，５００
身体障害者用インターホン子機	〃	１，１００
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	９００
復帰ボタン（　〃　）	〃	１，８００
廊下表示灯（　〃　）	〃	２，０００

備考：（天井高）×０．９　及び（天井高）×０．８　は大凡天井高が２，５００～３，０００mm　の場合に適用する。

項目	特記事項
㉗ 機材の品質・性能証明	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（(社)公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、ＪＩＳ（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。共通仕様書によるＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭ等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）による。
㉘ その他	⊙機材メーカーに拠る施工要領で禁止事項及び注意義務は施工者の責任施工とする。 ・ケーブル配線等の防火区画及び防火上主要な間仕切壁貫通個所は、耐火処置を施すこと。 ⊙屋外（多湿所）に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製とすること。 ⊙波付硬質ポリエチレン管（ＦＥＰ）は難燃性製品を使用すること。 ⊙波付硬質ポリエチレン管より建物、盤及び露出立上がり箇所は、異種管接続材を使用し、厚鋼電線管等にて施工すること。（耐震処置例による） ・屋外より地下ピットへの配管飛込み部分は、つば付スリーブ、防水用止水材を使用し防水処置を行う。 ⊙地中配管口には、湿気、泥水、小動物及び危険性ガス等が浸入せぬ様、管口止水材（パテ、シール等）を使用すること。 ・建築構造上のエキスパンジョイント箇所は、配線上支障なき様処置すること。 ⊙ハンドホール、プルボックス内では、ケーブル本数及び、点検等を考慮しケーブル支持金物などを設ける。 ⊙ハンドホール、幹線用プルボックス及び、分電盤等要所の電線等には、プラスチック製の名札を取付け、配線サイズ、系統種別、行先、施工年月日及び施工者名を刻印表示する。 ・断熱施工する外壁面取付の位置ボックスには、結露防止材を使用すること。 ⊙図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上当然必要とみとめられるものは、請負者負担において、良心的に行うものとする。 ⊙引込み取付け点は、電力会社、ＮＴＴ等関係担当員と協議の上決定する。 ⊙改修工事部分は、事前に現場調査を綿密に行い、施工上の問題点等を監督員と協議の上、施工に着手すること。 ⊙既設配線を使用する部分で不具合が生じるものは、図示なくもその改善を行う。 ⊙撤去工事にあたり図面記入なくも不必要な配線等は撤去する。 ・接地極の材料は下記による。なお、接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1500mm 以上とし、10φ、14φは、W＝40 としてよい。

	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
	共同接地	EA.D	10Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
	共同接地	EA.C.D	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
○	Ａ種接地	EA	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
	Ｂ種接地	EB	Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
	Ｄ種接地	ED	100Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－１組
	Ｃ種接地	EC	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
	高圧避雷器	ＥＬＨ	10Ω以下	銅板（900*900*1.5t以上）－１組
	低圧避雷器	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
	避雷設備	ＥＬ	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
	交換機用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
	通信用	EAt	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
	通信用	ECt	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1500mm）
	測定用	ＥＯ		ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1000mm）

５．凡　例

図中特記なきシンボル等はＪＩＳ－Ｃ－０３０３－００に準拠。（細目は、平面図等による。）

６．補足仕様

１）工事進捗状況報告書を提出すること（毎月１回月末）とし、インターネットでの提出も可とする。
（営繕課指定の書式とする）

２）火災保険の加入期間は、工期に１４日以上の日を加えた日までとする。

３）高度技術・創意工夫・社会性等実施状況について、請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。

４）請負者は、請負金額が５００万円以上となる場合、共通仕様書に基づき
（財）日本建設情報総合センターに工事実績情報を登録すること。

５）暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除

(1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。

(3) 請負者が(1) の報告等を怠った場合は、「笛吹市建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。

６）不正燃料使用の排除

(1) 請負者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

(2) 請負者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

Ⅲ．設備機材等選定表（下記以外は監督員の承諾を得ること）

機材名	指定メーカー					
高圧遮断器類	戸上	三英社	エナジー	東光	富士	三菱
受変電、配電盤類	山梨県配電盤工業協同組合加盟製造者				誠和	
分電、制御、端子盤類	同上				誠和	
変圧器、コンデンサー	日立	富士	東芝	三菱	ニチコン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
発電機、装置類	明電舎	日立	東京電機	三菱	川崎重工	ヤンマー
照明器具類	東芝	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	岩崎	三菱	日立	丸茂
電話機器類	ＮＥＣ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	岩通	日立	東芝	ＮＴＴ
電気時計・表示機器類	セイコー	シチズン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ＮＥＣ	キャノン
拡声、視聴覚機器	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ＴＯＡ	三菱	東芝	日立	ビクター
インターホン機器	アイホン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ケアコム	日立	三菱	東芝
誘導支援・呼出し機器	アイホン	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ケアコム	日立	三菱	東芝
テレビ共聴機器	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	Ｄ Ｘ	東芝	八木	日アン	マスプロ
監視カメラ機器類	日立	ＴＯＡ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	ビクター	三菱	池上通信機
非常警報装置機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
火災報知機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
防排煙制御機器	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
ハンドホール類	日本資材	関根	杉江	土井	フジプレ	山一窯業
ケーブルラック類	ネグロス	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	カナフジ	摂陽	電成	日亜
避雷設備機器類	東京	大阪	ワールド	村田	ライオン	沖電気
ガス漏れ警報機器類	能美	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	コスモ	矢崎	
太陽光発電機器類	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	京セラ	シャープ	三菱		
配線器具類	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ	東芝	神保	寺田	明工社	アメリカン
電線ケーブル類	ＪＩＳマーク表示品、又はＪＩＳマーク表示許可工場					
電線管、付属品類	同上					

共通仕様書によるＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭ等の基準に該当するものはその適合品とし、
それ以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業
設備機材等評価名簿（最新版）による。
※製作物については山梨県内の業者(メーカー)を採用すること。

特記事項 ①
②
③
④

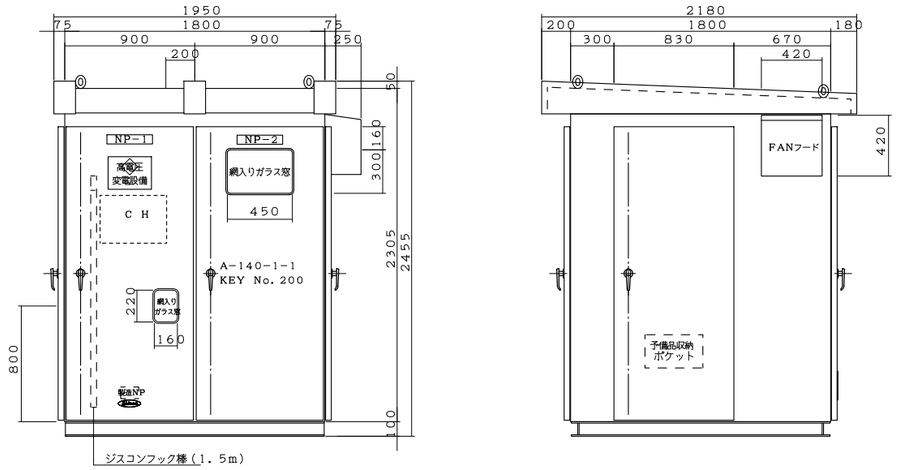
代表設計者	構造設計者	縮尺	工事名称　境川総合会館受変電設備等更新工事	E－01
一級建築士登録番号　第　号	一級建築士登録番号　第　号	A2(A3)：S=N(N)	図面名称　電気設備仕様書	
氏名	氏名	設計年月日		

配線ノ色別ハキャップ（テープ）ニヨリ
3φ3W　R（赤）　S（白）　T（青）
1φ3W　R（赤）　N（白）　T（黒）
電線はエコ電線を使用

3φ3W 6600V 50Hz
PAS
SOG
CHD
WHM
VCT
CN
5.5sq EM-IE
LBS-H
7.2kV200A
PF7.2kV40kA
G40A(T20A)
3sq KIP
PCS-C×3
7.2kV30A
PF7.2kV10kA
G10A(C7A)
SC
16.0kVar
(6%)
TR-1
3φ50kVA
6600/210V
(油入)
TR-2
1φ100kVA
6600/210-105V
(油入)
LZCT-1
LZCT-2
LGR-1
LGR-2
T27 N27
MCB-27ヨリ
(AC100V)
Cu5t×20
Cu6t×50
F1R-3A
F1S-3A
F1T-3A
F2R-3A
F2S-3A
F2T-3A
R1 S1 T1
R2 N2 T2
R10 T10
R20 T20
VS-1
VS-2
300V
AS-1
AS-2
MDA
X1 Y1 Z1
X2 Y2 Z2
CT-1×2
200/5A
15VA
200/5A
10min
CT-2×2
750/5A
15VA
750/5A
10min
EDCu
EACu
EBCu
22sq
38sq
ED
EA
EB
EP
EC
60sq EM-IE
250sq EM-LMFC
外部警報
漏電
過負荷
TB-B
B0 B1 B2
SP×7
2アオ
(扉開でON)
FL11 10W
FL21 10W
FL12 10W
FL22 10W
DRS-11
DRS-21
DRS-12
DRS-22
DRS-R
DRS-L
TH-P
0~40℃
切
261
手動
自動
COS-P
262
FAN
25cm
CN
2P15A E付き
R26 N26
MCB-26ヨリ
AC100V
MCB-11 3P225AF150AT
MCB-12 3P225AF150AT
MCB-13 3P100AF100AT
MCB-14 3P100AF100AT
MCB-15 3P100AF60AT
MCB-16 3P100AF60AT
動 力
MCB-21 3P225AF200AT
MCB-22 3P225AF150AT
MCB-23 3P225AF150AT
MCB-24 3P100AF100AT
MCB-25 2P50AF30AT 100V
MCB-26 2P50AF20AT 100V 所内電源
MCB-27 2P50AF20AT 100V LGR電源
電 灯
電圧は協議の上決定する

特記事項 ①②③④		代表設計者 一級建築士登録番号 第　号 氏名	構造設計者 一級建築士登録番号 第　号 氏名	縮尺 A2(A3)：S=N(N) 設計年月日	工事名称　境川総合会館受変電設備等更新工事 図面名称　幹線設備配置図	E－02

[受変電設備]

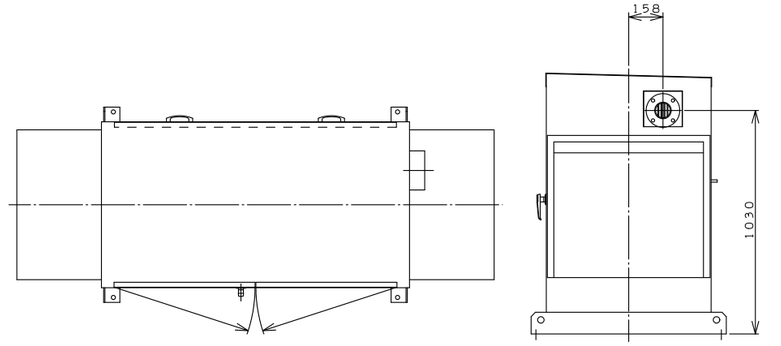


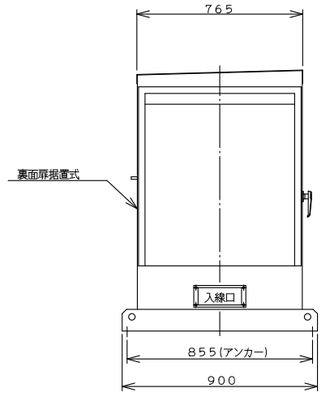
	名　称	仕　様	数
NP−1	高圧受電盤	63×315ピス止め	2
NP−2	低圧配電盤	〃　〃	2

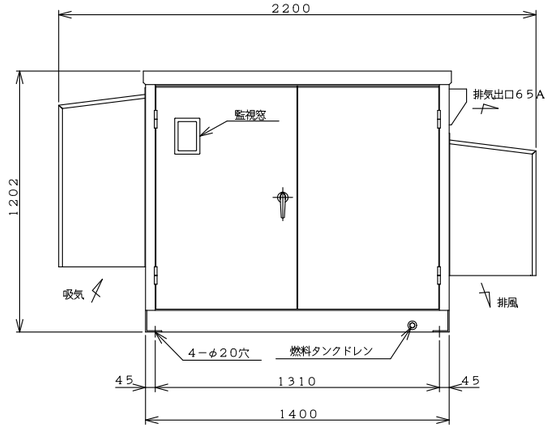
備　考

配　線	高圧側	6600V　KIP	低圧側	600V EM−IE，EM−LMFC
鋼　材	ベース	5t×50×100　チャンネル	フレーム	4t×50×50　アングル
	鋼　鈑	表面被膜処理鋼鈑（スミジンク）　箱体2．3t　扉3．2t　内部パネル3．2t		
塗　装	粉体静電焼付塗装　（日本ペイント　POWDAX　P100）※仕上色は協議による			
窓ガラス	アミ入りガラス　厚さ6．8mm	ハンドル	サガミ形ハンドル（キー付）　A−140−1−1 KEY No.200	
銘　板	注意標識板・本体定格銘板・接続図			
予備品	ジスコンフック棒（1．5m）　・　ガラス管ヒューズ100％			
	PF100％　・　補修色1缶ハケ含む			

[自家発電設備]







備　考

発電機	型　式	機軸回転界磁形同期発電機
	周波数	50Hz
	容　量	20kVA
	定格電圧	200V
	相　数	3相3線
エンジン	型　式	3TNE84−GH2
	定格出力	26．0kW
充電器	型　式	半導体式全自動充電

特記事項 ①
②
③
④

代表設計者	構造設計者	縮　尺
一級建築士登録番号　第　　号	一級建築士登録番号　第　　号	A2(A3)：S=1:20(N)
氏名	氏名	設計年月日

工事名称　境川総合会館受変電設備等更新工事

図面名称　参考図（受変電設備・発電設備）

E − 03